

Course number		U-LAS06 20004 LJ41					
Course title (and course title in English)		環境と法 Environment and the Law		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Global Environmental Studies Professor,USAMI MAKOTO	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
Days and periods		Fri.3/Fri.4		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>本科目の目的は、環境問題の種類・構造や、環境法政策の原理・手法について、法学・政策分析・ミクロ経済学等の知見を活用しつつ概説することにある。</p> <p>討論型授業の形式により開講される。各回授業は、約60分間の講義セッションとそれに続く約30分間の質疑・討論セッションとに二分され、授業中の学生の発言等に基づいて平常点の採点が行われる。</p>							
[Course objectives]							
環境問題と環境法・環境政策について、基礎的知識を得る。							
[Course schedule and contents]							
<p>次の主題について授業を行う。</p> <p>1. 本科目の概観：基本性格と授業方法【1回】 2. 環境問題の種類：環境、公共的問題、法政策【1～2回】 3. 環境問題の構造：外部性、コースの定理【2～3回】 4. 環境法政策の手法：規制的手法、経済的手法【4～5回】 5. 環境法政策の原理：持続可能性、汚染者負担原則、予防原則【3～4回】</p> <p>授業回数は、フィードバックを含めて全15回とする。</p>							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
<p>座席表を作成した上で、各回授業の質疑・討論セッションにおける履修者の発言を質・量の両面から厳密に評価して、座席表に記録し、その記録に基づいて平常点を採点する。出席による平常点への加点はないが、欠席・遅刻・早退は減点対象となる。</p> <p>平常点（50％）と授業期間中に実施する2回の小テスト（25％×2）の点数とを合計して、最終成績を確定する。</p>							

Continue to 環境と法(2)							

環境と法(2)

[Textbooks]

日引聡・有村俊秀 『入門環境経済学：環境問題解決へのアプローチ』（中央公論新社）（2002年）
倉阪秀史 『環境政策論（第3版）』（信山社出版）（2014年）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

履修者は、毎回の授業で十分な予習に基づく積極的な発言を期待される。

[Other information (office hours, etc.)]

「環境と法」は、応用的かつ学際的な科目であり、法学・ミクロ経済学をそれぞれ応用するという側面をもつ。そこで、履修要件とはしないものの、これらの科目をあらかじめ履修するか、あるいは本科目と並行して履修することを勧める。

第1回授業時に、授業の進め方の詳細な説明と第2回授業用の予習資料の配布とを行うので、履修希望者はかならず第1回授業に出席すること。